

みどりの風

Noseiren Dayori Midori no Kaze

発行／熊本県農業者政治連盟

JA熊本県会館内 熊本市南千反畑町2-3

電話 096-328-1284

編集責任者 木村 幸孝

発行／毎月1回 15日発行

平成9年7月4日第三種郵便物許可



おんだ祭り（阿蘇市：写真提供 熊本県）

阿蘇大明神が、阿蘇開拓と農耕を広めた御徳を称え、年々の豊作を祈る祭りである。神々に捧げる飯櫃（めしひつ）を頭上に載せて歩く姿は、夏の風物詩となっている。

主な内容

- ・組織改革検討委員会の答申提出
- ・畜酪全国危機突破大会
- ・JA菊池青壮年部活動
- ・ガンバッテいます：福田祐三さん 山室智子さん
- ・各連合会からのお知らせ

また生物種の大規模な絶滅を引き起こす可能性も指摘され、地球全体の気候や生態系に大きく影響すると予測する。併せて、真水資源の枯渇、農業・漁業などへの影響による食料問題の深刻化が懸念されている。

実際に温暖化によって世界のGDPの約二十％相当の損失を蒙るとも予測されている。

七月九日、日本、米国及びEUなど先進国に、中国、インドなどの発展途上国十六カ国が参加する「主要経済国協会(MEM)」の首脳会合が、主要国首脳会議(北海道洞爺湖サミット)に併せて開催されたが、「温室効果ガス」の「五〇年半減」の長期目標は合意されず、「共有を支持する」とどまっていた。

この根底には、新興国の経済成長優先の国内政策と、先進国に対する根強い不信任感がある。しかしこの現状では、我々人類に猶予はない。次世代に豊かな自然と環境を残すために、今我々は真剣に地球温暖化への対応策を示していく、義務がある。

梅雨が明けると、連日、異常な暑さが続く。大気中にある二酸化炭素などの温室効果ガスの濃度も高くなっており、地球の気温は急速に上昇し、確実に地球の温暖化は進行している。

今後、一九九〇年から二一〇〇年までに、地球の気温は一・四度～五・八度上昇すると予測されており、この結果海面は、九～十八cm上昇するとされる。

地球温暖化による影響について、イギリスのスターン報告によると、気温や水温を変化させ、海面上昇、降水量の変化やそのパターン変化を引き起こすとする。更に洪水や旱魃、酷暑やハリケーンなどの激しい異常気象を増加・増強させる可能性があるとも指摘する。

あせらぎ



組織改革検討委員会の

答申を本会議に提出

第一回農政連委員会

二十年度第一回の農政連委員会を六月十七日開催し、組織改革検討委員会の答申および二十年度通常総会提出議案、総会開催日程等について協議を行った。

平成二十年一月二十二日、園田農政連委員長より委嘱を受け、組織改革検討委員会の澤村委員長を代表として委員九名は、三回にわたって検討・協議を重ね、その結果を、本日、農政連委員長へ答申した。この答申に沿って、今後、事務局長会議や委員会等で十分検討しながら、強力な農政運動ができる体制を構築していくこととなった。答申内容は、以下のとおりである。

1、組織改革の基本認識

今、世界的規模で異常災害が頻発する中で、穀物価格等が高騰するなど、深刻な食料不足を招いている。

こうした中で、我国の食料自給率はカロリーベースで三十九%ときわめて低水準にあり、今後、国内自給率向上の必要性が国民的高まりとなっている。一方、農業においては、原油高など生産コストが急騰し、生産者の努力の限界を超え、農業経営の危機的状況が広がるにもかかわらず、農畜産物価格は低迷し、農家所得は大幅に減少している。

このため本県農業者が、我国の重要な食料基地としてその使命と役割を担うとともに、安定的・継続的な所得確保を図るには、強力な農政運動に取り組む体制作りが、早急に望まれている。

2、組織に関する事項

(1) 総支部・支部の組織強化について

地域によっては総支部・支部での活動が不十分であり、事務局体制も脆弱であるため、有効な組織運動を展開するには、まず基本となる総支部・支部の設置と事務局体制の充実強化を図る

とともに、総代会への活動報告による盟友への啓発と総支部の年間計画及び実績報告を明確にする。

(2) 青壮年部・女性部の参画拡大について

農政連委員会への青壮年部・女性部参画拡大については、青壮年部では農政部長等、女性部では、フレッシュユミズや女性部支部代表の参画も視野に入れて検討する。

3、事業、活動に関する事項について

(1) 県段階の活動強化について

①農政活動理解促進のため盟友、生産部会、青壮年部、女性部、さらに総支部・支部事務局長（員）への研修会の実施と、農政学習会を定期的に開催する。

さらに行政機関、並びに専門機関と連携を図り、早急かつ明確な情報収集と学習会を開催する。

②地域における環境保全運動、地域農政活動強化対策（食の安全・安心のアピール活動等）、農政学習会等の開催についての支援強化を行う。

③消費者等、農業者以外の他業種等との積極的な交流を図り、食の安全・安心のアピールと理解促進に努める。

④農政連広報誌「みどりの風」紙面刷新については、更に内容の充実を図り、盟友への情報発信のための紙面作りを目指す。



(2) 総支部・支部の活動強化について

① 総支部では、農政報告会（国・県）や農政要請のための懇談会（要請集会等）を定期的に開催し、要請活動を強化する。

② 総支部ごとに年間活動内容をチェックして、問題点・課題を抽出するとともに、その課題解決のために、総支部（支部）ごとに会議を開催する。

③ 盟友、生産部会、青壮年部、女性部、また職員や事務局員の研修会を総支部・支部単位に開催し、農政活動への理解促進を図る。

さらに行政機関、並びに専門機関を招いて農政学習会を開催する。

④ JAにおける組合員化と連携し、青壮年部、女性部員及び地域住民等幅広く農政連盟友の加入を積極的に推進する。

⑤ 県の助成要領に基づいた、環境保全運動、地域農政活動強化対策（食の安全・安心のアピール活動等）、農政学習会等を実施する。

⑥ 消費者等、農業者以外の地域の住民へのPR活動を図る。（食の安全・安心のアピールと理解促進に努める）

(3) 国政、県政への農政代表者の選出について

選挙対応について、農業者・盟友の意思を代弁する国政・県政における代表者を広範な組織討議等により選出し、当選に向けた活動の徹底を図る。

なお、県議会議員選挙については総

支部により事情が異なるため、申請を受けた総支部は関係支部と協議の上、県農政連に申請する。

4、財政について

事業・活動を支える財政の確立は最も重要であり、盟友自らが農政運動のために最低限一、〇〇〇円の負担を基本とし、総支部の責任において盟友分、全額を納入する。

また、支部・総支部財政の改善のためには、会費を負担してもらい財政を確保すること、助成要領を活用した活動を展開して充実に図る。



第一回農政連委員会

東京で畜酪全国危機突破大会



畜酪全国大会

五月二十八日に畜産・酪農対策危機突破対策全国代表者集會を開催し、全国のJA代表者や生産者ら五〇〇人が結集。九州・沖縄から一五〇名、全体の三割、熊本県から四十名余りが出席した。

JA菊池青壮年部の山瀬欽也さんが、「配合飼料価格安定制度の財源確保を必ず実現をしよう」と訴えたのをはじめ、三人の決意表明があった。



JA菊池の山瀬欽也さんによる意見表明

大会では、与党国會議員に対して、「飼料の高騰がとどまらず、このままでは、中核農家が廃業に追い込まれる」など生産現場の危機的状況を訴え、配合飼料価格安定制度の財源確保や経営安定対策の拡充などを強く求めた。



熊本県参加者

JA菊池 青壮年部活動

JA菊池青壮年部は8支部の盟友418名で、安定的な農業所得を確保するとともに食料の安定供給と自給率の向上を大きな柱に様々な活動を行っています。

特に本年度は盟友で「食農教育プロジェクトチーム」を結成し、地域に根ざした活動を展開しています。



ファームスティの子供たち

次世代を担う子どもたちが豊かな人間性を育み、生きる力を身につけていくためには何より『食』が重要な要素である。

我々盟友は「食」を知育・徳育・体育の基礎となるものと位置付けて様々な農業体験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践できる子どもを育てることが我々に課せられた責務だと信じます。このため、教育関係者等と連携しながら子どもたちの成長過程で自らの暮らしと社会との関わり、そして自らの健康の尊さの理解を広げる活動を日々行っています。

国内自給率39%（県内58%）の脅威を『日本で作る 日本で食べる』を合言葉に安全・安心な農畜産物を食卓へ提供することにより、近い将来に自給率100%の達成をめざします。

自ら率先して「学習する青壮年部」を実践し、各種研修会、農政報告会等を通じて、苦境にある農業を再び「日本の誇り」とし、未来へ承継する役割を担います。



全国手作り看板コンテスト最優秀賞



農業新聞岡田健治氏による講演



県青協畜酪部会



合志もちつき

福田 祐三さん
JAあしきた



水タンク積み作業途中で

●地元に戻って

芦北地方は、観光うたせ船や津奈木美術館、特産品では、甘夏、デコポン、サラダたまねぎで有名。

福田さんは、昭和四九年一月生まれ。芦北高校を卒業、専門学校で情報処理の勉強をしていたが、家庭の事情で農業をすることになりました。

現在、家族とともにデコポン施設三十a、露地もの一・五ha、甘夏二十aの柑橘類を栽培しています。

●デコポンの栽培

柑橘農家では、人気のあるデコポン農家や産地が増えています。また、デコポンは、光センサーでチェック、日本で唯一の全国統一糖酸品質基準をもつ果物ということで栽培にも気を使っています。その基準に合格、おいしく育てる為には、木が土壌ヨウ素や水を吸収できる土壌づくりや施肥技術、さらには摘果、水分保持の徹底に工夫を凝

らしています

●温暖化が心配

最近、地球温暖化が進んでおり、花が少ない現象が起きています。

花が減った分だけ収穫量も減ることになり、過去の経験だけでは、防ぎきれないのでは、と心配されていました。

「特に暑い夏は、水の確保が重要であり、二十〜三十分離れたところまで水汲みに行かなければならず大変」と話す。

●青壮年部活動

青壮年部を中心としたJAあしきたアグリサーブスによる田植えをはじめ、田植えのオペレーターとして活躍しています。

田植えから収穫まで年間を通した農作業を代行しており、最近では、高齢化と担い手不足で、年々、申し込みが増加しているとのことでした。

「特に津奈木町では、大苗を育苗、根痛みが少ないと言うことで、二年生苗を生産者へ配付するなど農家支援に汗を流している」と話す津奈木町青壮年部部长も努める福田さん。

●柑橘栽培へ意欲

柑橘は、新苗を植えてから収穫できる成木に育つまでは、相当の期間が必要であり、その間、未収穫の時期ができるので、それをカバーするためには、ある程度の面積が必要。福田さんも以前は、水稲を栽培していましたが、水稲をやめて、柑橘栽培に切り替えました。「今後も栽培面積を広げて経営拡大を図りたい」と抱負を述べていました。

山室 智子さん

JA阿蘇高森支所フレッシュミズ



牛舎にて

「生き物相手のこの仕事は私にはあっています。」

落ち着いた雰囲気です話す山室智子さんは、熊本市出水の出身で、二十歳の時に、今の旦那さんと出会い結婚。現在は旦那さんの実家のある高森町色見に嫁いで畜産農家として、毎日牛舎に通い詰めています。他にも米三町、キヤベツ三町を作っているそうです

●畜産農家として

動物に興味があつた山室さんは東海大学農学部へ進学し、生体機構学を専攻。学生時代は南阿蘇畜協でバイトをしていたそうです。

「直接生き物と触れ合えるし、勉強のため南阿蘇畜協でバイトをしました。そこで、今の旦那さんと出会ったんです。」

実は山室さんは大学在学中に結婚し、今では子供三人の母親です。とても三人のお子さんの母親とは思えないくらい若い山室さんは、今では旦那さんに牛舎のことをまかされるほど経営に携



わるようになったそうです。

「結婚して就農後、赤牛主体だったのを黒牛に切り替えて、頭数も三十頭から七十頭に増やしました。牛舎も増築し、今後も更に増産していきたいですね。そして生産コストが高騰しているの、畜産一本に絞ろうかなと考えています。」

公務員の家庭に育ち、今まで農業経営に無縁の生活を送ってきた山室さんですが、そのたずまいは経営者としての自覚を漂わせていました。

●フレッシュミズの活動

現在、JA阿蘇高森支所フレッシュミズは五名の会員で、おもに子育て、農業等に関する悩み相談、話し合い、料理教室、青壮年部と合同でパークゴルフを行っています。

「まだ組織が発足して浅いですが、少しずつ活動を増やして、参加する人が多くなるように盛り上げていきたいです。」

中央会会長に園田俊宏氏(再任)、 経済連会長に上村幸男氏が就任

〔中央会・連合会通常総会〕

J A 熊本中央会と各連合会は六月三十日、熊本市で通常総会を開いた。二〇〇七年度事業報告を承認し、新役員体制を決めました。

総会には、県内 J A 組合長や県連役員ら関係者約一五〇人が出席。

園田俊宏中央会長は「J A ・連合会との連携によりスピード感を持って課題解決に取り組む」とあいさつ。

中央会は、安全・安心な農畜産物の提供と地域農業の振興や将来の農業政策の基礎となる担い手対策・支援対策を最優先事項に掲げ、取り組みました。信連は、〇九年一月に予定している農林中央金庫との最終統合に向けた各種課題の解消などを着実に進めました。経済連は、担い手の育成支援と消費者・実需者に信頼される安全・安心な農畜産物の安定供給に向けた生産基盤の再構築や生産者所得向上に向けた米穀・園芸・畜産販売などに取り組み、取扱高については、販売事業では、一、〇〇〇億円で計画対比一〇三・四%を達成。総取扱高は計画対比一〇二・五%の一、七二三億円でした。

厚生連は、①新たな J A 健康管理活動の推進②信頼される健診活動と質の

高いサービスの提供③事業推進体制の確立と経営基盤の強化を重点的に行いました。

また役員改選では、中央会会長に園田俊宏氏（J A 熊本うき会長）を再任、厚生連のほか信連の経営管理委員会会長、共済連の県本部運営委員会会長も兼務します。経済連会長には上村幸男氏（J A 菊池会長）が就任しました。

「やつぱり熊本産」 農畜産物推進運動

〔みんなのよい食プロジェクト実施〕

J A グループ熊本は六月二十一日、「やつぱり熊本産農畜産物推進運動」を熊本市内の下通りアーケードで行い、消費者に食の安全・安心や食料自給率向上を訴える街頭宣伝活動を行いました。

同活動は、全国 J A グループで一斉に実施する「みんなのよい食プロジェクト」の一環で、熊本県で全国の先陣をきって行ったものです。

当日は中央会や連合会職員ら約三十人が参加。「みんなのよい食プロジェクト」と書かれたリーフレットを手に「安全・安心な食料は日本で作り、日本で食べる」と「熊本産農畜産物」「産地消」の大切さなどを消費者に強く訴えました。今年度は四回計画しています。

農機新製品・新技術研修会

経済連は七月四日、大津町の熊本県家畜市場で平成二十年農機新製品・新技術研修会を開きました。県内 J A の農機担当者約一〇〇人が参加しました。農機担当職員の製品知識・技術取得が目的。八月七・八・九日に開催される第四十五回 J A グループくまもと農機自動車大展示会の推進運動にも関連しています。

農機メーカー七社が参加。低騒音・低振動の快適な乗り心地のセミクローラートラクターや、担い手向け低コスト農機である J A 独自型式のコンバインやトラクターなど、およそ五十点の新製品を紹介しました。参加者から「各メーカーの特徴が比較できた。新製品について今後の推進に活かしたい」との声が聞かれました。



100人が参加した農機新製品・新技術研修会

第三回 J A 熊本経済連 肉牛枝肉販売促進会

経済連は六月八日、畜産農家の経営安定を図るため、菊池市七城町の(株)熊本畜産流通センター内で第三回 J A 熊本経済連肉牛枝肉販売促進会を開きました。この販促会は、県産牛の銘柄を確立するため、和牛については県内産素牛に限定し、子牛生産から肥育までオール熊本の肉牛で品質を競いました。販促会には、J A から肉牛七十五頭（乳用種五頭、交雑種二十五頭、褐毛和種五頭、黒毛和種四十頭）が出品され、グランドチャンピオンには、山瀬義也さん（J A 菊池）が選ばれました。山瀬さんは「とてもうれしい。日ごろは、子牛の病気や、ビタミンの欠乏や、事故などに特に注意して飼育している」と話されました。

販促会には、県内外より三十四社の取引先が集まり活発なセリが行われました。グランドチャンピオン牛はキロ単価六、五四〇円の高値で取引されました。

主な上位入賞者は次のとおり

- ▽乳用種の部・金賞一席Ⅱ山田信幸（J A 菊池）
- ▽交雑種の部・金賞一席Ⅱ山田勝郎（J A 菊池）
- ▽褐毛和種の部・金賞一席Ⅱ麻井高治（J A かみましき）
- ▽黒毛和種の部・グランドチャンピオン賞Ⅱ山瀬義也（J A 菊池）

JAマイカーローン輪輸サマーキャンペーン2008

平成二十年六月二日(月)～八月二十九日(金)

熊本県内JAでは、平成二十年六月二日(月)から八月二十九日(金)までの三か月間「JAマイカーローン輪輸サマーキャンペーン2008」を実施しています。

「キャンペーン期間中にお申し込まし、かつ平成二十年九月三十日までにお借り入れいただけるお客様」で、「JAにて給与振込、JAカードのお取引のいずれもご利用中、または今後ご利用いただけるお客様」は、借入期間に関わりなく年二・〇% (七月一日現在店頭金利

年五・〇%以内、各JAで異なります。)でご利用いただけます(上記キャンペーン期間限定。なお、お借入れまでに給与振込のご利用申請がない場合年〇・三%、JAカードのご利用申請がない場合年〇・一%が上記金利に上乘せとなります。保証料は別途必要となります。また、自動車購入資金以外にも別表のとおりご利用いただけます。

更に、JA共済熊本よりキャンペーン期間中にマイカーローンをお借入れ、さらに「自動車共済」にご加入された「JA共済しあわせ夢くらぶ会員」の方、抽選で二十名様に「オムロン体脂肪計」をプレゼントします。

商品の概要

(平成20年6月2日現在)

ローン種別	JAマイカーローン (基金協会保証型)	JAマイカーローン (信販保証型)
保証機関	熊本県農業信用基金協会	三菱UFJニコス・ジャックス
ご利用いただける方	・ 組合員または組合員になれる方 ・ 18歳以上、最終償還時71歳未満の方 ・ 勤続(営業)年数および地区内居住年数が1年以上の方 ・ 年収が正組合員150万円以上、准組合員200万円以上の方	・ 継続して安定した収入がある方 ・ 原則として20歳以上65歳以下の方 ・ 原則として勤続年数が1年以上、または2年以上の営業実績を有する方 ・ 三菱UFJニコスまたはジャックスの保証を受けられる方
お支払い	自動車・バイク購入(中古車を含む)、点検・修理、車検、購入に付帯する諸費用、共済(保険)掛金に必要な資金、他金融機関等の自動車資金の借換に必要な資金(営業用自動車は対象外とします)	自動車購入のための資金(中古車を含む)、購入時に必要な税金、保険、カー用品
お借入限度額	500万円以内(1万円単位)	10万円以上300万円以内(1万円単位)
お借入期間	6か月以上7年以内	
保証人・担保	原則不要	
	20歳未満の借入者は法定代理人を連帯保証人とします。	
ご返済方法	元利均等返済で次のいずれかの方法 ① 毎月払い ② 毎月払いと半年賦払いの併用 ③ 半年賦払い ※③については農業者のみとします。	元利均等、元金均等で次のいずれかの方法 ① 毎月払い ② 毎月払いと半年賦払いの併用 ③ 半年賦払い
保証料	正組合員 年0.55% 准組合員 年1.10%	ジャックス 年1.50% 三菱UFJニコス 年1.80%

*ローンのご利用は、JA所定の資格・要件を満たす方に限定させていただきます。
*店頭にて返済の試算を承っております。
*ローン商品の詳しい内容については、店頭にて説明書をご用意しております。

「マイカーを購入予定の方、買い替えを検討されている方、期間限定金利のお得な「マイカーローン」で、あなたの欲しかった車を手に入れませんか?ぜひ、この機会をお見逃しなくご利用ください。なお、詳しくはお近くのJA窓口へおたずねください。」

JA共済 全国小・中学生 書道・交通安全ポスターコンクール作品募集!

JA共済では、毎年小学生・中学生を対象とした「書道・交通安全ポスターコンクール」を開催しています。小学生・中学生のみならず、夏休みを利用して作品の制作に取り組んでみませんか?ご応募いただいた作品の中から特別賞に輝いた作品は全国大会に

出品され、全国大会で入賞すると、東京での表彰式やドイツ・ニールランドへの招待があります。作品応募の締切は九月五日(金)です。詳しくはお近くのJA窓口へお問合せください。たくさんのご応募お待ちしております。

◆書道コンクール課題◆

区分	半紙の部	条幅の部
小学生	第1学年	にじかぐや
	第2学年	みのりめぐみ
	第3学年	よろこび美しい山
	第4学年	友達考える力
	第5学年	心に太陽青い地球
中学生	第1学年	全力投球豊かに実る
	第2学年	天体観測理想の追求
	第3学年	相互扶助自然と環境輝

【作品の規格】
半紙の部…半紙(タテ約32.5cm×ヨコ約24cm)ただし、美濃紙等は使用しないこと
条幅の部…画仙紙半切大(タテ約136cm×ヨコ約35cm)表装・裏打ち・押印等はしないこと。
学年・氏名の記入方法
(学年) (氏名)
○年 ○○○○
(注)小・中学生の別、学校名を記入したものは審査対象外です。

◆交通安全ポスターコンクール課題◆

- ①子ども向けまたは歩行者向けの交通安全ポスター(児童・生徒に交通法規や規則をやらせようとするもの)
- ②運転者向けの交通安全ポスター(車を運転する人に交通事故防止を呼びかけるもの)

【作品の規格】
用紙…B3判(36.1cm×51.5cm)
画材…描画材料は特に制限を設けません。
資格…他のコンクール等に応募していないもので、かつ模作でないもの。交通法規や規則に反しないもの。固有の名称が記入されていないもの。

あじがわ

● ことしは、七夕に夜空の星を眺める
 ことができ、さわやかな気分になり
 ました。



七月に咲く花【朝顔】

朝顔の名は、早朝に開花し、昼にはし
 ぼんでしまう特徴を、朝の美人の顔に喩
 えた「朝の容花（かおばな）」の意味と言わ
 れる。

奈良時代末期に遣唐使が薬として種
 を持ち帰った。

朝顔は、漢名「牽牛子」といい、江戸時
 代には、七夕の頃に咲く事と織姫を朝
 顔姫と呼び、花が咲いた朝顔は「彦星」と
 「織姫星」が年に一度、出会えたことの
 具現化として縁起のよいものとされた。
 （花ことば）明日もさわやかに
 ヒルガオ科／つる性／中国原産

● 盟友の皆様のご意見や 周辺地域の
 話題、写真等、各地区の総支部・支部（J
 A本・支所）へお寄せいただければ幸甚
 に存じます。

連絡先 熊本県農政連

電 話 096132811284
 F A X 096132615807

ご家族の成長に合わせて乗りかえる。
 JAのローンがお手伝い。

JAマイカーローン

JAバンク

しよく

みんなの
 よい食
 プロジェクト

JAグループ

「よい食プロジェクト」を展開します。

JAグループでは、生活者の食料についての不安や不信の高まりによる、安全・安心な国産農畜産物や日本農業への関心が従来にもまして高まってきた状況をふまえ、「みんなのよい食プロジェクト」を始動させました。このプロジェクトは、これからの日本人にとって「よい食」とは何かを、日本の農家とJAグループ、そして消費者のみなさんが一緒になって考え、行動していく運動です。

JA熊本中央会

JA共済

家族みんなの明日を、
 安心して満たしたいから。

働き盛りの収入を年金支払いで保障
終身共済

家族のきずな

●詳しくはお近くのJA(農協)へお問い合わせください。ホームページアドレス<http://www.ja-kyosai.or.jp>
 ●みんなにサンキューキャンペーン実施中! <http://www.3qja.jp> 08481050132

JAグループくまもと
農機自動車
 第45回 **大展**

2008年8月7日(土)8日(日)9日(月) 9:00~16:00
 開催場所: グランメッセ熊本

同時開催
 生活関連用品展示

JA熊本中央会